

地域シンポジウム報告書（概要）

三栖谷地域シンポジウム	
日時	平成19年8月21日(火) 午後7時30分～9時40分
場所	三栖コミュニティセンター
参加者	市民 45名 (万呂15名、三栖12名、長野18名)
	講師：山本 健慈教授
	事務局：岡本館長(三栖)・桑原館長(万呂)、西田館長(長野) 宮本主査、小西主事 生涯学習課～藤若課長、小川係長、三栖係長、瀬戸主査 松下主査、戎主査、鍋島主査
テーマ	地域のことを話し合おう

シンポジウム進行次第

	内容
	開会あいさつ 三栖谷地域シンポジウム実行委員会 委員長 岡本 進一郎
	ミニ講演 「いま、なぜ生涯学習計画なのか」 講師：和歌山大学生涯学習教育研究センター長 山本健慈
	ワークショップ テーマ：「地域の課題・公民館の課題について」 「課題解決策・提案等について」 個人ワーク グループ討議 個人ワーク 意見交換と集約 報告 まとめ
	閉会あいさつ 三栖谷地域シンポジウム実行委員会 副委員長 西田 孝道

三栖谷地域シンポジウム

日時 H.19.8.21
場所 三栖コミュニティセンター



地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム

A班(万呂)

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティと言う施設はあるが広場公園のようなものがない。小学校も町内の端にある。 ・広報について回覧が回ってこない。 ・あいさつがない。 ・川を美しく。 ・自主防災の備え ・子供とのかかわり方。 ・大人から子供までみんなが楽しめるイベントが年2回位あるといい。 ・大人同士のコミュニティ。 ・親睦をはかるためには。 ・町内会への参加。(特に新しくこの町に移転した家庭) ・行事をどうするか。 ・人材の掘りおこしをいかにしてやるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は住民の願いをできるだけバックアップしていく。 ・公民館各館には クラブ 会と地域を盛り上げる組織がある。このような住民組織があれば。 ・町内会と公民館の分担について。 ・大人の大事な学習をすすめる。 ・諸会議の出席率の低さ。 ・活動者だけのものになっていないか。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・放送設備の整備。各学習会での啓発。 ・町内会組織検討委員会の設置。(活動中) ・清掃活動への参加。エコバッグを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会各種団体と公民館連携。 ・多数住民が参加できる行事計画。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会として放送設備を整えたい。 調査中(広報と共に) ・みんなが寄れる行事がほしい。(盆踊り等々) 地域に分けて検討会を持っている。町内会組織そのものより、地域行事からでも。 ・万呂を流れる左会津川を美しく。 町内会で堤防掃除に取り組んでいる。 高雄中学校で「水質検査」に取り組んでいる。 万呂公民館の秋の総合展示会に参加してほしい。 ・子供たちとのかかわり方。 ・大人同士の小さなコミュニティづくり。 ・命と命の出会いの「あいさつ」が大事。 ・回覧が回ってこない。(回覧をまわしてほしくないという家もある) 各学習会で啓発してゆく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の人の大事な学習の場であってほしい。 ・公民館は遊び場でない。 ・諸会議の出席率の低さ。活動者だけのものにならない為に。 多数住民が参加できる行事計画。 ・町内会と公民館。 町内会各種団体と公民館の連携が大事。

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム
B班(万呂)

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生活していくことだけで精一杯で、地区のお世話をすすんでしてくれる人が少なくなってきた。 ・若い人は夫婦とも多忙です。地域の行事に参加してもらえない。 ・音頭をとる人(リーダー)が少ない。リーダーにとってする事が多すぎる。 ・隣近所のつきあい。 ・高齢化問題。 ・地域で知らない人が増えてきたなあ。 ・岡トンネルが出来てから、熊野橋から天王池交差点への交通量の増加。 ・人が多すぎて治安が悪い。 ・町内会自体が大きすぎて付き合いがまとまっていない気がします。 ・町内会行事に協力する人が少ない。 ・各種団体に入って活動する人が少ない。 ・犬のフンの後始末が出来ていない。 	
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点になる施設(会館など)が必要。リーダーが必要。(ハード+ソフト) ・声かけをする。 ・学校帰りの子供達を見守ってくださる年配の方の活動は素晴らしいと思います。 ・地域みんなが集まるような催し物。自分達で取り組む。 ・万呂町内会を分割しては？より細かな対応ができる。 ・「ふれあいサロン」のような小さなコミュニティは？ ・みんなが集まって楽しく過ごせるような催し(盆踊り)があれば良いと思う。 ・町民運動会も続けて欲しかった。 	
その他の意見	<p>地域の課題 万呂の発展とそれに伴う諸問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万呂は市内でも最も発展している地域のひとつである。 ・反面、地域のつながりが失われつつある。 ・地域の活動への参加が少なくなっている。 ・マナーや地域力の低下がみられる。 <p>地域の課題に対しての解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町が広すぎるもの問題。地区の分割も考えては？ ・リーダー(ソフト)と会館など(ハード)のソフト+ハード両方が必要。 ・「ふれあいサロン」のような小さなコミュニティも必要では？ ・地域のマナーを向上し、地域のつながりを深めるためには住民自らが中心となって、地域イベントなどを行うのも効果的では？ ・地域の行事に参加したくても、若い人ほど自分の生活で精一杯で余裕が無い。比較的自由な時間のある人といえ、年配の方がどうしても多くなる。 	

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム

C班(万呂)

	地域	公民館
現状・課題	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路が整備されていない。 ・バイパスの車の量が多くて空気が悪くてうるさくてウンザリします。 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の大きな遊び場が少ない。遠い。 ・子供の遊び場(公園などの広場)が少ないのでは ・夏休みにとても気になることは、子供達の姿が見かけなくて淋しい。(暑いから家やゲームセンターにこもっているらしい) ・町の運動会がなくなり、皆で顔を合わせる機会がない。 ・自分の回りの人達との交流がない。 メンバーの固定 ・子供が外に出て高齢化が進んでいる。 ・高齢者が多くなって班長する人が少なくなってきた。 <p>マナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩道がゴミ、犬のフンなどでマナーが悪い。 ・用水路の汚れが目立ってきた。 	<p>ゴミ等マナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙を置くプレハブがあふれている時があるし玄関にアルミ缶など積み上げているのはきたならしい。 利用しやすいか？ ・公民館の図書の本を増やしてほしい。 ・公民館にはいつもお世話になって助かります。いつまでも利用しやすい場所であってほしいです。 ・空き室がない！
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が自由に入出入りできる場所。児童館のようなスペースが公民館があればよいのでは。 ・万呂のお祭りの復活。公民館周辺で。 ・公民館から親子で参加できるイベントを提案してもらおう。 ・町内会で参加できる行事を増やせ！ ・班別に勉強会等必要。 ・町内会の所帯数が多すぎなので分けてみたら。 ・小規模グループ化、高頻度化が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙センターのプレハブを大きくしろ。実情に応じた容量確保。 ・市の図書館から借り出してくれる回数を増やして欲しい 本の回転率を良くする。 ・地元優先にしてほしい。 利用規則を改める。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・町的环境 道路 広場。 ・高齢化と少子化。 ・マナー。 ・用水路 家庭の努力。下水道施設。 ・廃油の回収をひんぱんに。 ・親と子と一緒に土手や道路の掃除。 	

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム

D班(三栖)

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都会化し「隣の人は何する人ぞ」となってきたいる。住む人の孤立化。 ・快適な環境、自然と歴史をどう維持するか。 ・農地、宅地の住み分け。 ・地域課題を共有化する話し合いの場、リードする組織の存在。 ・地域がひとつにまとまる取組が少ないのでは。 ・取組を立案・実行する実行委員会の存在。 ・通学合宿のような子供たちが地域にとけこむ取組。 ・地域の将来を担う子供たちの課題の共有。 ・子供たちが自分の地域に愛着と誇りを持てる街に。 ・子育てに昔のおせっかいおばさんも必要では。 ・伝統文化(料理等)を次世代に伝える手立て。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の固定。 ・公民館主事の不在。 ・学校と地域をつなぐ役割の必要性。 ・官と民の共同。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な世代が楽しめる活動を計画。 ・自主的に取り組みを行う人々の集まりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主事の役割の重要性の再認識。 ・公民館主事の常駐。 ・計画から実行まで同じ苦勞をしてこそ協働。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・溝、用水路の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点公民館制度について。

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム

E班(三栖)

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数の減少。 ・中学校として中・大規模化する中で、学校と地域、保護者間のつながりが希薄化する傾向がある。 ・入園まで親同士が顔見知りでない。 ・少子化問題。 ・町内会に参加しない人が多くなってきた。 ・対人関係が事前より深まらない。 ・近所の高齢化もあり、近所付き合いがしづらい。 ・町内会費を払わない人が増えてきている。 ・要援護者の緊急時の援護について。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の教室への参加者が少なくなっている。 ・参加者の高齢化。 ・詩吟サークルがその集いを開いてほしいと要望があるが。 ・盆恒例の公民館主催ソフトボール大会へ人数が揃わずチームが組めず、参加できなかった。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・育宝会の復活。 ・3歳児から幼稚園へ。 ・もうすぐ開始される給食をアピールして園児の確保。 ・町内会で要援護者への緊急時の対応をマニュアル化して、年に2回くらい研修なり、実習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加。 ・詩吟サークルを要請してほしい。 ・数地区合同でソフトボールのチームを作る。
その他の意見		

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム

F班（長野）

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の役員が少ない。 ・各種団体の女性が入っていない団体がある。 ・いつまでも昔の考えをもたないで、合併したので少しは前向きの考えを持ってほしい。 ・物の大切にしている心が消えていっている。 ・児童数・保護者数の減少。 ・高齢化で地区の行事が出来なくなってきた。 ・若者が結婚しない。 ・働く職場が無い。 ・農業改良、地元生産物加工製造の工場があれば。 ・長野・上野間の二車線整備。 ・伏菟野 水上間のトンネル新設。 ・中辺路 上野間のトンネルの早期新設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔のような青年団活動を公民館主導で。 ・活動内容を考慮し、出来得る限りの総合活用。（ふれあいの機会を多くする） ・年齢層を総合、活動内容を広げる。 ・公民館を中心とした会議に、各種団体の参加数を多くしてほしい。 ・年齢別のシンポジウムを開催する。 ・公民館開放講座を学校の施設をつかってもらえればと思うが学校の施設が十分でない。 ・小学校・中学校・公民館合同で取り組む行事がないのでは。 ・地域のニーズを知ったうえでの学校開放。 ・公民館主事の常駐。 ・公民館活動は地域密着した活動のため、公民館の統合は駄目。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の進出。 ・結いの会（事務局公民館長）という住民の結婚の促進を目指す会を結成。少子化に歯止めをかけようと活動を展開中。 ・思い切った道路網の連結施策を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズを把握したうえで、様々な方が参加しやすいような講座を開設する。 ・多様なニーズをくみ上げる。 ・主事が常駐しておれば相談しやすい。
その他の意見		

地域シンポジウム報告書（班別）

三栖谷地域シンポジウム
G班(長野)

	地域	公民館
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが少なく、もっと大きな集団の中で学ばせたい。 ・子供を増やしたい。 ・保育所、学童保育所がない。 ・子供たちが忙しすぎる。 ・高齢化 = 少子化。 ・嫁がない。 ・仕事が無い。 ・老人ばかりの地域になった、若者も勤めに行って、夜しか帰ってこないの、これでは文化の引継ぎができない。 ・役を持つ人がいつも決まった人に。 ・後継者が少なく収入も少ない。 ・農業収入の安定化。 ・年金不安。 ・道路整備。 ・女性が意思決定の場に居ないことが多い。 ・次世代へ繋がる農業の明るい展望が見出せない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の固定化。 ・人材不足。 ・役員だけではなく皆さんが参加してほしい。 ・21世紀は地方の時代だと言われているのに、どうして田辺は地方をつぶして、中央集権的にしたいのか。 ・公民館に血圧測定器やパソコンを置くなどしてみてもは。 ・コピー機や印刷機を公民館に置いて、住民が気軽に使えるようにしてみてもは。 ・主事の常駐。 ・公民館の看板はあるが、実質的な館はない。 ・合併前は公民館主事が常駐しており、ノルマがあったのかはわからないが、それなりに活動をしていたが、今は主事がどこかへ行ってしまって、あまり活動が行われていないように思う。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・老人に働いてもらう。 ・企業誘致。 ・農産品のブランド化。 ・農業従事者へ補助をする。 ・田辺付近に大学があれば若い人たちが定住するのは。 ・高齢者を尊ぶ社会意識を育てる。 ・田舎を大切にす政治を。 ・廃屋の利用を促進する組織を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館を整備し、公民館独自の部屋を確保する。 ・常勤で無くても、週3～4日常駐する主事をおく。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事。 ・道路。 ・女性の参画。 ・課題は多いが解決策がなかなかない。 ・農業が駄目になるのは農家の責任ではない。 ・田舎の生活を取り戻すことが大事。 ・高校に近いところに住みたい。長野から出て行くことになる。 ・和歌山県に大学が少ない。県外へ出ると帰ってこない。 ・いろいろ研究しながらやっていることを、組織のある農協などで、見直しのある政策を。 ・路が良くなれば少しは変わるのでは。 ・道があっても他に何も無いから駄目。 ・県営・市営住宅の建設をたのんだけれど・・・ ・廃屋があれば来たい人もいるだろう、新築してまでは難しいが、世話をする人がいれば。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足 ・中央集権的 ・公民館の公民館としての整備 ・地区の状況が違うので一緒に考えるのに無理がある。